

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度	
				科目コード	C-G01	
授業科目名			授業形態		学科・コース	
フレッシュマンセミナー			講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必修	30	1	上杉 徳彦 吉田 文昭 石野 真明	
授業の目的・目標						
<p>沼津情報・ビジネス専門学校の学生として、思いやりのある誠実な心（あいさつ・時間・そうじ）を意識し、基本的な生活態度を身につける。</p> <p>グループで考え行動することで、クラスメイトや同期生にたいしての仲間意識を持つ。</p>						
授業の概要						
<p>アクティビティやワークを繰り返す中で、楽しみながら沼情コンセプトを理解する。</p>						
成績評価の方法						
出欠席や積極性などで評価する。					出欠席 50% 学習意欲 50%	
使用テキスト・教材						
<p>行うアクティビティに応じて教材を作成（自作）</p>						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1日目オリエンテーション（挨拶指導・自己紹介）			4			
実習（クラス対抗50マス紹介）			2			
2日目実習（クラス混合アクティビティ）			6			
3日目実習（クラス混合アクティビティ）			8			
学校の説明、学生便覧、教務規定の説明			2			
後藤先生の「心の授業」			2			
クラスごとの企画			6			
その他			関連科目			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度	
				科目コード	C-G02	
授業科目名			授業形態		学科・コース	
キャリアディベロップメント I			講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	30	1	中嶋 久美子	
授業の目的・目標						
自らのキャリアをどう創造するか。単に就職活動だけが目的ではなく、広くこれからの自分の生き方や働き方を考えてみる。基本的な社会人基礎力を理解する。						
授業の概要						
自己への理解、他者への理解、社会への理解をテーマに学習を進めていく。課題や演習をとおして内面的にも向き合い、新たな自分を発見するために主体的に取り組めることが肝要。						
成績評価の方法						
講義への出席回数、提出物、演習などへの取り組みを総合的に評価。 期末試験に替わるレポート課題、パフォーマンス。					出席状況 30% 課題、演習 70%	
使用テキスト・教材						
自分を大きく見せる話し方 コミュニケーション技法 (株式会社ウイネット) 資料プリント						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
ガイダンス キャリアデザインの理解				価値観		
アイスブレイク、講座の目的			1	価値観の評価		1
キャリア意識の自己評価			1	過去の体験の振り返り		1
自分の強み、弱み			2			
キャリアと金銭感覚				現代社会の理解		
学生のコネ感覚			1	昭和～平成～令和への流れ		1
将来の夢とお金			1	仕事の未来		1
職業に対する概念と興味				求められている人材		
職業を考える(グループ RP)			2	学生と企業のギャップ		1
職業観の評価			1	社会人基礎力の定義		1
職業興味の評価			1	事例対応(グループ RP 等)		12
働き方の自己評価			2			
その他			関連科目			
			教養ゼミ II			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	C-G03
授業科目名		授業形態		学科・コース	
キャリアディベロップメントⅡ		講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	1	遠藤 茂瑚
授業の目的・目標					
生活を送る上での基本的なコミュニケーションスキルと態度・考え方を学ぶ。コミュニケーションスキルの自己の強みと弱みを知り、3つの考え方とスキルを身に着ける。また、組織で活動する上での基本となる12の要素を知り、身に着ける。					
授業の概要					
1学年時の学習を踏まえ 演習 発表 グループワーク・ワークシェア・ディスカッションを取り入れながら自信をもって社会に出られるよう 卒業後に役立つことを学びます。					
成績評価の方法					
期末試験の得点に重きを置きながらも、課題の評価点 授業への取り組みと学習意欲を総合評価したうえで決定する。				期末試験	40%
				課題	20%
				授業態度	40%
使用テキスト・教材					
自分を大きく見せる話し方 コミュニケーション技法 (株式会社ウイネット) 課題 (自作) ロールプレイング用教材(自己所有物)					
授業内容・授業計画					
	時間数			時間数	
信頼性：物理的環境の整備	1	ビジネスマナー		1	
信頼性：信頼の獲得と維持	1	まとめ		1	
信頼性：言語・非言語の効果的な使用	1				
信頼性：確認演習	1				
共感性：心理的環境の管理	1				
共感性：表現方法の調整	1				
共感性：質問の活用	1				
共感性：相手からのメッセージへの対応	1				
共感性：確認演習	1				
共感性：確認演習	1				
理論性：コミュニケーションの準備	1				
理論性：コミュニケーションの評価	1				
理論性：確認演習	1				
その他		関連科目			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	C-G04
授業科目名		授業形態		学科・コース	
就活ゼミ I		講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	上杉 徳彦
授業の目的・目標					
就職活動をスムーズに行うための基礎知識を身につける。					
授業の概要					
自己表現をすることと、希望の会社・団体について学ぶことをバランスよく行う。					
成績評価の方法					
出欠席や積極性などで評価する。				出欠席	50%
				学習意欲	50%
使用テキスト・教材					
Career Guidebook 2026 (沼津情報・ビジネス専門学校オリジナル)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
働くということ・社会人としての自覚		2			
自己分析・自分の魅力探し		2			
就職活動の流れと本校における		2			
提出書類の確認・就職コーナーの活用					
Web サイトでの情報収集		2			
業界研究・企業研究		2			
求人票の見方、給与・保険制度		2			
職種研究		2			
筆記試験対策		2			
会社説明会		2			
電話、面接での問い合わせ		2			
履歴書の書き方		4			
面接の仕方		4			
内定後の過ごし方		2			
その他			関連科目		
			就職活動ゼミ II		

シラバス (授業概要)	時間数は45分換算	年度	2024年度
		科目コード	C-G05

授業科目名		授業形態		学科・コース	
就職活動ゼミⅡ		講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	1	吉田 文昭 石野 真明
授業の目的・目標					
就職活動をスムーズに行うための基礎知識を身につける。					
授業の概要					
自己表現をすることと、希望の会社について学ぶことをバランスよく行う。					
成績評価の方法					
出欠席や積極性などで評価する。				学習意欲	50%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
Career Guidebook 2024 (沼津情報・ビジネス専門学校オリジナル)					

授業内容・授業計画			
	時間数		時間数
科内交流会	2		
小論文とは (小論文の書き方)	2		
文章の読み書きの規則	2		
小論文演習	4		
ハローワーク登録	2		
就職に関するグループワーク	2		
電話対応演習	2		
自己分析	2		
マナーと企業研究	2		
書類送付、メールの送信	2		
実践的プレゼンテーション	2		
SPI 練習	6		
その他		関連科目	
		就職活動ゼミⅠ	

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	C-G06
授業科目名		授業形態		学科・コース	
教養ゼミ I		講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	1	各担当
授業の目的・目標					
各科の専門だけでなく幅広い教養を身に付け、学習の視野を広げる。					
授業の概要					
選択科目は各科の専門科目・一般科目に関係なく、各学生の視野を広げるために、普段の学科の学習では学習できない教養を複数の講座を開講する。履修は学生の希望アンケート調査により決定する。学生から選択し、身に付けることを目的に開講する。					
成績評価の方法					
各講座により、試験、実技、提出物などで評価を行う。					講座ごとに設定
使用テキスト・教材					
各講座による。					
授業内容・授業計画					
<開講科目> ・DTP ・お菓子作り ・パーソナルカラー ・一般常識 ・英会話 ・イラスト入門 ・ゼミナール (中国語) ・インタビュー ・心理学 ・ワープロ実務 (準1級) ・ワープロ実務 (1級以上) ・POP デザイン		時間数 各 15	・ゼミナール (ピアノ入門) ・ゼミナール (体育 I) ・ゼミナール (体育 II) ・ゼミナール (運転と安全 I) ・ゼミナール (演劇) ・ゼミナール (インテリア植物の育て方)		時間数
その他		関連科目			
開講科目より 1 科目を受講		教養ゼミ III			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	C-G07
授業科目名		授業形態		学科・コース	
教養ゼミⅡ		講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	込山 まゆみ
授業の目的・目標					
この授業ではおもにコミュニケーション能力をテーマに進めていく。他者とのコミュニケーションは社会で生きていくためには必要不可欠。より良い人間関係を築くために自身の隠れた能力や表現力を引き出し、併せてビジネスシーンでの活用を学ぶ。					
授業の概要					
実際にできることを目指すため演習には積極的な参加を。「理論」＋「実践」を通じて、生来の特色ではなく、コミュニケーション能力は後天的に身につくスキルだということを理解してほしい。					
成績評価の方法					
講義への出席回数、提出物、演習などへの取り組みを総合的に評価。 期末試験に替わるレポート課題、パフォーマンス。				出席、学習意欲	30%
				課題、レポート等	70%
使用テキスト・教材					
自分を大きく見せる話し方 コミュニケーション技法 (株式会社ウイネット) 資料プリント					
授業内容・授業計画					
序章	時間数		時間数		
ガイダンス、講座の目的	1	聞(聴)き上手を目指す	1		
挨拶・返事・お辞儀	2	「聴くこと」とは？	2		
コミュニケーション概念	2	話しやすい環境づくり	2		
第一印象と身だしなみ	1	傾聴	2		
身体の表情	2	ポジティブリフレーミング	2		
言葉で伝える ①		言葉で伝える ②			
音調管理	2	文章表現	2		
適切な言葉の使い方	6	手紙の作法	2		
(敬語、言葉で示す心遣い、 ビジネス的慣用表現)		効果的に伝える			
		自分の意見を人に伝える	3		
その他	関連科目				
	キャリアディベロップメントⅠ				

シラバス (授業概要)				年度	
				2024年度	
				科目コード	
				C-G08	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
教養ゼミⅢ		講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	1	各担当
授業の目的・目標					
各科の専門だけでなく幅広い教養を身に付け、学習の視野を広げる。					
授業の概要					
選択科目は各科の専門科目・一般科目に関係なく、各学生の視野を広げるために、普段の学科の学習では学習できない教養を複数の講座を開講する。履修は学生の希望アンケート調査により決定する。学生から選択し、身につけることを目的に開講する。					
成績評価の方法					
各講座により、試験、実技、提出物などで評価を行う。					各講座ごとの評価
使用テキスト・教材					
各講座による。					
授業内容・授業計画					
<開講科目>		時間数			時間数
<ul style="list-style-type: none"> ・DTP ・お菓子作り ・パーソナルカラー ・一般常識 ・英会話 ・イラスト入門 ・ゼミナル (中国語) ・インタビュー ・心理学 ・ワープロ実務 (準1級) ・ワープロ実務 (1級以上) ・POPデザイン ・ゼミナル (ピアノ入門) 		各 15	<ul style="list-style-type: none"> ・ゼミナル (体育Ⅰ) ・ゼミナル (体育Ⅱ) ・ゼミナル (運転と安全Ⅰ) ・ゼミナル (演劇) ・ゼミナル (インテリア植物の育て方) 		
その他			関連科目		
開講科目より1科目を受講			教養ゼミⅠ		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	C-G09
授業科目名		授業形態		学科・コース	
教養ゼミⅣ		講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	1	吉田 文昭 石野 真明
授業の目的・目標					
システム開発事例の教材を使い、要件定義、外部設計、内部設計を中心にシステム開発の上流工程を演習形式で学習する。					
授業の概要					
オブジェクト指向プログラム言語での開発に用いられている“UML”を使い、要件定義～基本設計までの流れを演習にて確認する。					
成績評価の方法					
授業内で作成した成果物を主体に、授業態度・その他提出物などを加味して評価する。				課題	60%
				授業態度	20%
				提出物	20%
使用テキスト・教材					
オリジナルテキスト「システム開発演習」					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
システム開発の概要		2			
基本設計		8			
外部設計		8			
内部設計		6			
プログラム設計		6			
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			システム開発総合演習		

シラバス (授業概要)	時間数は45分換算	年度	2024年度
		科目コード	C-G10

授業科目名		授業形態		学科・コース	
コミュニケーション活動 I		講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	1	上杉 徳彦
授業の目的・目標					
学校行事など、通常科目の学習を越えた様々な学習活動を行う。 郊外での集団行動も多く、チームワークなど教室の授業では得られない学習効果が期待できる。					
授業の概要					
コミュニケーションを深めるとともに、集団生活における個々の役割・分担を再確認する。					
成績評価の方法					
出欠席、授業態度等。				出欠席	50%
				学習意欲	50%
使用テキスト・教材					
資料配布あり。					

授業内容・授業計画			
	時間数		時間数
入学式	4		
企業講演会	4		
終業式・前期成績発表	4		
始業式・防災訓練	2		
資格表彰式	2		
新年始業式	2		
卒業研究発表会 (系)	4		
後期成績発表	2		
卒研研究発表会 (全体)	4		
進級発表	2		
その他	関連科目		

シラバス (授業概要)				年度		
時間数は45分換算				2024年度		
				科目コード		
				C-G11		
授業科目名		授業形態		学科・コース		
コミュニケーション活動II		演習		コンピュータ科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	通年	必修	90	3	石野 真明 吉田 文昭	
授業の目的・目標						
始業式、終業式、ハイキングや入学式、卒業式、卒業研究発表会、就職ガイダンスといった行事、さらには海外研修などに参加するための科目である。						
授業の概要						
始業式、終業式、ハイキングや入学式、卒業式、卒業研究発表会、就職ガイダンス						
成績評価の方法						
出欠席状況で評価する。					出欠席	100%
使用テキスト・教材						
授業内容・授業計画						
			時間数			
始業式、卒業式			8			
ハイキング			16			
卒業研究発表会			12			
就職ガイダンス			14			
海外研修			40			
その他				関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	C-SR01
授業科目名		授業形態		学科・コース	
パソコン利用技術		講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	2	上杉 徳彦 岡部 泰幸
授業の目的・目標					
パソコンの利用に慣れるために実施する。 CompTIA IT Fundamentals (ITF+) 合格を目指す。					
授業の概要					
皆さんは入学後、大勢で利用するので一定のルールのもと、学校のネットワークに接続する。その接続方法やコンピュータの中にはどのような部品があるのか、プリンタなどの外部の装置、メールの使い方などを学びます。					
成績評価の方法					
出欠席及び学習意欲などで評価。				学習意欲	50%
				出欠席	50%
使用テキスト・教材					
CompTIA ITF+ IT Fundamentals 問題集と解説 (エミール出版)					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
パソコンの初期設定、使用上の注意			4		
インターネット接続、プリンタ設定			2		
アプリケーション設定			2		
コンピュータとOS			4		
モバイルデバイス			2		
ストレージ			4		
CPUとメモリー			4		
メンテナンスとトラブルシューティング			4		
チェック問題と検定対策			2		
模擬試験			2		
その他			関連科目		
			ソフトウェア、ハードウェア		

シラバス (授業概要)				年度	
				2024 年度	
				科目コード	
				C-SR02	
授業科目名			授業形態		学科・コース
HTML			講義・演習		コンピュータ科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必須	30	1	中村 知枝美
授業の目的・目標					
HTML を使用して Web ページを作成する方法を学習する。 スタイルシート (CSS) を使用してバランスのとれたページを作成する。					
授業の概要					
ブラウザで確認しながら HTML・CSS を記述していく。 HTML だけで書かれた単調なページから文字や画像を見やすく配置し、配色にも気を付ける。 一つのお店の Web ページを完成させる。					
成績評価の方法					
課題提出					課題 100%
使用テキスト・教材					
スラスラわかる HTML&CSS のきほん (SB クリエイティブ株式会社)					
授業内容・授業計画					
			時間数		
HTML の基本書式			2		
見出し、段落、リスト			2		
画像挿入			2		
リンク			2		
テーブル (表)			2		
CSS			10		
フロート、フレックスボックス			2		
フォーム			2		
課題			6		
その他				関連科目	

シラバス (授業概要)				年度	
				2024年度	
				科目コード	
				C-SR03	
授業科目名			授業形態		学科・コース
プレゼンテーション技術			講義・演習		コンピュータ科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必須	30	1	中村 知枝美
授業の目的・目標					
プレゼンテーションを理解し、報告・提案・説得など社会人として適切なプレゼンテーションができるようになる。					
授業の概要					
視覚化・図解化のツールとしてパワーポイントを使用する。 プレゼンの構成を学ぶ。 話し方や動作などを学ぶ。					
成績評価の方法					
プレゼンテーション (発表)					プレゼン 100%
使用テキスト・教材					
プリント配布、パワーポイントスライド資料					
授業内容・授業計画					
			時間数		
プレゼンテーションの心得			2		
PowerPoint の基本操作			2		
プレゼンテーションのテクニック			4		
グループ別プレゼンテーション			8		
情報収集 ・資料収集					
視覚資料作成 ・リハーサル					
グループプレゼン発表・評価・反省			4		
個人プレゼンテーション			6		
情報収集 ・資料収集					
視覚資料作成 ・リハーサル					
個人プレゼン発表・評価・反省			4		
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)				年度	
				2024年度	
				科目コード	
				C-SR04	
授業科目名			授業形態		学科・コース
表計算基礎			実習		コンピュータ科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	山本 葉子
授業の目的・目標					
表計算 (Excel) の基礎を学び、就職後の実務に役立つようにする。 MOS Excel の合格					
授業の概要					
Excel の基礎を身につけ、MOS 合格を目指す。					
成績評価の方法					
課題提出 期末試験 (実技) 結果				期末試験	70%
				課題	30%
使用テキスト・教材					
30 時間でマスター EXCEL2019					
授業内容・授業計画					
Excel の概要			時間数	データベース	
データ入力・削除			2	並び替え・フィルタ・集計	
表作成				7	
書式設定・罫線・計算			4	MOS Excel	
関数				第1章 ワークシートやブックの作成と管理	
SUM・AVERAGE・MAX・MIN			8	2	
COUNT・COUNTA・RANK・IF				第2章 セルやセル範囲の作成	
AND・OR・ネスト・ROUND・INT				2	
ROUNDUP・ROUNDDOWN					
SUMIF・AVERAGEIF					
COUNTIF・文字列操作					
グラフ作成					
棒・折れ線・円			5		
その他			関連科目		
			表計算応用、表計算アプリケーション		

シラバス (授業概要)				年度	
時間数は45分換算				2024年度	
				科目コード	
				C-SR05	
授業科目名			授業形態		学科・コース
表計算応用			実習		コンピュータ科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	2	山本 葉子
授業の目的・目標					
前期の表計算基礎を基に、MOS Excel 合格のために模擬問題を行う。					
授業の概要					
MOS Excel 合格を目指す。					
成績評価の方法					
MOS Excel 結果					試験 100%
使用テキスト・教材					
MOS 攻略問題集 Excel365&2019					
授業内容・授業計画					
MOS Excel			時間数	時間数	
第3章 テーブルの作成			2		
第4章 数式や関数の適用			2		
第5章 グラフやオブジェクトの作成			2		
模擬練習問題 1,2			4		
模擬テスト 1~5			10		
模擬テスト 復習			10		
模擬テスト 1~5 を合格点に達するまで何回も行う					
その他			関連科目		
			表計算基礎、表計算アプリケーション		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	C-SR06
授業科目名		授業形態		学科・コース	
コンピュータ概論		講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	上杉 徳彦
授業の目的・目標					
コンピュータ内部のデータ表現を学習する。学習をとおして基数変換、補数表現、浮動小数点演算、シフト演算ができるようになる。					
授業の概要					
コンピュータ内の中心を成している2進数を中心として、2進数、8進数、16進数について学習し、基数変換を学ぶ。また補数の考え方、小数点のある演算、シフト演算などについて学習する。					
成績評価の方法					
期末試験を中心に、出欠席を加味して評価する。				期末試験	80%
				課題	20%
使用テキスト・教材					
ITワールド (インフォテック・サーブ)					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
基数 (10進数、2進数、8進数、16進数)			4		
基数と基数変換			6		
データの表現形式 (文字データ)			2		
ゾーン10進数、パック10進数			2		
固定小数点数、符号付き絶対値表現			2		
補数表現			4		
浮動小数点数			2		
誤差			2		
シフト演算：算術シフト、論理シフト			4		
まとめ			2		
その他			関連科目		
コンピュータの基本的なことを学習します。			ハードウェア		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	C-SR07
授業科目名		授業形態		学科・コース	
アルゴリズム		講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	60	4	上杉 徳彦
授業の目的・目標					
プログラムを作成するうえで必要となるロジックの作り方を学習します。					
授業の概要					
初めに基本的な流れ図記号から学習し、変数への代入方法、大小を比較する処理の分岐方法を学習します。次に繰り返し処理、2重ループの作り方を学習します。さらに配列処理を学習します。これには1次元配列、2次元配列とあります。さらに配列を用いた文字列処理、探索処理を学習します。最後に探索・整列について学習します。					
成績評価の方法					
期末試験、小テストの結果及び提出課題の提出状況、出欠状況で評価します。				期末試験	70%
				課題	30%
使用テキスト・教材					
初めてのアルゴリズム (インフォテック・サーブ) 演習課題あり					
授業内容・授業計画					
	時間数		時間数		時間数
代表的な流れ図記号	2	1次元配列	6		
変数と定数	2	2次元配列	8		
カウンタ	2	文字列の利用	2		
集計 (集計の方法)	2	線形探索	4		
二重ループ1 (二重ループの作り方)	2	二分探索	4		
二重ループ2 (行の処理、列の処理)	2	整列アルゴリズム	8		
二重ループ3 (演習)	2	ここまでのまとめの演習	4		
複合条件1 (AND,OR)	2				
複合条件2 (演習)	2				
フラグ (フラグの使い方)	2				
ここまでのまとめの演習	4				
その他		関連科目			
单元ごと演習課題を実施する。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	C-SR08
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ハードウェア		講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	中村 知枝美
授業の目的・目標					
基本情報技術者試験（午前）合格を目標とする。					
授業の概要					
<p>基本的な入出力装置、補助記憶装置、インターフェースなど広範囲に渡って学習します。更に情報処理試験でも中心となる分野です。</p> <p>一步一步確実に理解し、自分のものにしてください。</p>					
成績評価の方法					
筆記試験、出欠席で評価します。				期末試験	80%
				出欠席	20%
使用テキスト・教材					
IT ワールド（第1部 ハードウェア 第4節～第5節）（第2部 情報処理システム）（インフォテック・サーブ）					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
補助記憶装置			2		
入出力装置			2		
情報処理システムの処理形態			4		
高信頼化システムの構成			2		
情報処理システムの評価			6		
ヒューマンインターフェース			4		
マルチメディア			4		
基本情報技術者試験過去問題			4		
試験			2		
その他			関連科目		
※実務経験がある教員が担当する科目である。			コンピュータ概論、ソフトウェア		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	C-SR09
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ソフトウェア		講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	岡部 泰幸
授業の目的・目標					
基本情報技術者試験（午前）合格を目標とする。					
授業の概要					
オペレーティングシステム、システム管理、開発言語、ファイル管理など広範囲に渡って学習します。更に情報処理試験でも中心となる分野です。一步一步確実に理解し、自分のものにしてください。					
成績評価の方法					
筆記試験、出欠席で評価します。				期末試験	80%
				出欠席	20%
使用テキスト・教材					
IT ワールド (第3部ソフトウェア) (インフォテック・サーバ)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
ソフトウェアの分類①		2	アプリケーションの基本と種類		2
ソフトウェアの分類②		2	アプリケーションの管理、チェック問題		2
ソフトウェアライセンスによる分類		2			
ジョブ管理		2			
タスク管理、ディスパッチャ		2			
記憶管理、その他の管理機能		2			
プログラム言語		2			
言語プロセッサ、サービスプログラム、プログラムの属性		2			
ファイルとレコード		2			
ファイルのアクセス方式		2			
ファイル編成方式		2			
小型コンピュータのファイル管理		2			
バックアップ		2			
その他			関連科目		
			ハードウェア		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	C-SR10
授業科目名		授業形態		学科・コース	
データベース基礎		講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	1	上杉 徳彦
授業の目的・目標					
基本情報技術者試験（午前）合格を目標とする。					
授業の概要					
データベース管理や SQL 言語など広範囲に渡って学習します。更に情報処理試験でも中心となる分野です。 一步一步確実に理解し、自分のものにしてください。					
成績評価の方法					
筆記試験、出欠席で評価します。				期末試験	80%
				出欠席	20%
使用テキスト・教材					
IT ワールド (第4部 データベース) (インフォテック・サーブ)					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
			6		
			4		
			4		
			8		
			2		
			4		
			2		
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)				年度		
				2024年度		
				科目コード		
				C-SR11		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
データベース設計演習			講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	前期	必修	30	1	清 慶治	
授業の目的・目標						
リレーショナルデータベースである Access の使い方を学習する。リレーショナルデータベースは Access や MySQL など卒業研究でもよく使うものであり、テーブル設計やデータ登録、加工など習得することはメリットが大きい。						
授業の概要						
アクセスによるテーブル定義の方法、クエリを用いた情報の抽出方法、フォームの使用方法、レポートの作成方法、マクロの使い方など学習する。						
成績評価の方法						
単元ごとに課題提出があり、その提出状況により評価する。					課題 100%	
使用テキスト・教材						
できる Access2019 (インプレス)						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
テーブルの作成			2			
クエリの作成			4			
フォームの作成			4			
レポートの作成			4			
リレーショナルデータベースの作成			4			
複雑な条件のクエリ			4			
自由なレイアウトのレポート			4			
マクロの利用			4			
その他				関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	C-SR12
授業科目名		授業形態		学科・コース	
システム開発基礎		講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	上杉 徳彦 鈴木 孝昌
授業の目的・目標					
この授業では、情報システム戦略、システム開発技術、ソフトウェア開発技術、システム開発環境、Webアプリケーション開発について学習する。					
授業の概要					
基本情報技術者試験に出題される用語について、その概要を理解し問題に対応できる知識を習得し、情報システム戦略の意義とシステム開発の方法・手順を理解する。					
成績評価の方法					
学期末試験の成績で評価する。					期末試験 100%
使用テキスト・教材					
IT戦略とマネジメント (インフォテック・サーブ)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
第3部 情報システム戦略		2	ソフトウェア開発技術		8
情報システム戦略の概要			ソフトウェア開発手法		
情報システム戦略のプロセス			ソフトウェア設計手法		
業務プロセスとソリューションビジネス			システム開発環境		4
情報システム企画		2	知的財産適用管理		
企画プロセス/開発計画			開発環境管理		
要求定義/分析			構成管理・変更管理		
調達			Webアプリケーション開発		2
第4部 開発技術		12	Webアプリケーション		
システム開発技術			Webアプリケーション開発		
システム開発プロセス					
ソフトウェア実装プロセス					
保守・廃棄プロセス					
その他			関連科目		
基本情報技術者試験の基礎となる科目である。 ※実務経験がある教員が担当する科目である。			・IT戦略とマネジメント		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	C-SR13
授業科目名		授業形態		学科・コース	
IT戦略とマネジメント		講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	上杉 徳彦 鈴木 孝昌
授業の目的・目標					
企業活動、企業会計、標準化、関連法規、経営戦略、プロジェクトマネジメント、サービスマネジメントについて学習する。					
授業の概要					
基本情報技術者試験に出題される用語について、その概要を理解し問題に対応できる基礎知識と応用力を習得する。					
成績評価の方法					
学期末試験の成績で評価する。					期末試験 100%
使用テキスト・教材					
IT戦略とマネジメント (インフォテック・サーブ)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
第1部 企業と法務					
企業活動		4			
企業会計		2			
法務と標準化		6			
第2部 経営戦略マネジメント					
経営戦略マネジメント		2			
ビジネスインダストリ		2			
第5部 プロジェクトマネジメント					
プロジェクトマネジメントの概要		2			
サブジェクトグループ		4			
第6部 サービスマネジメント					
サービスマネジメントの概要		4			
サービスマネジメントの手法		2			
期末試験		2			
その他			関連科目		
基本情報技術者試験の基礎となる科目である。 ※実務経験がある教員が担当する科目である。			・システム開発基礎		

シラバス (授業概要)	時間数は45分換算	年度	2024年度
		科目コード	C-SR14

授業科目名		授業形態		学科・コース	
ネットワーク基礎		講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	小針 恒雄
授業の目的・目標					
基本情報技術者試験（午前）合格を目指す。					
授業の概要					
覚えることが多い科目ですが、ネットワークの世界で共通に話されている事柄が主となります。確実に覚えるようにしてください。					
成績評価の方法					
前期末試験及び出欠席状況で評価する。				期末試験	50%
				出欠席	50%
使用テキスト・教材					
IT ワールド (第5部 ネットワーク) (インフォテック・サーブ)					

授業内容・授業計画

	時間数		時間数
ネットワークの種類と特徴、ネットワークの基本構成	2	ワイヤレスネットワーク、ネットワークの接続形態	2
ネットワークの基礎技術、伝送制御手順	2	ネットワークのプロトコル、ネットワークのコマンド	2
通信サービス、ネットワークアーキテクチャとは	2	ネットワーク設定、モバイル接続・無線	2
OSI (開放型システム間相互接続)、TCP/IP	2	接続・有線接続	2
LANの基礎技術、その他のLAN技術	2	通信の暗号化とネットワークストレージ	2
TCP/IP プロトコル、インターネットの基本構成	2	付録：TCP/IP	2
インターネットサービス、ネットワーク運用管理	2	チェック問題他	2
ネットワーク管理手法	2		
ネットワークの概念、インターネットの接続方式と機器・ケーブル	2		
その他		関連科目	
基本情報技術者試験の基礎となる科目である。 ※実務経験がある教員が担当する科目である。		・情報セキュリティ	

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	C-SR15
授業科目名		授業形態		学科・コース	
情報セキュリティ		講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	小針 恒雄
授業の目的・目標					
基本情報技術者試験（午前）合格を目指す。					
授業の概要					
覚えることが多い科目ですが、セキュリティの世界で共通に話されている事柄が主となります。確実に覚えるようにしてください。					
成績評価の方法					
前期末試験及び出欠席状況で評価する。				期末試験	50%
				出欠席	50%
使用テキスト・教材					
ITワールド（第6部 セキュリティ）（インフォテック・サーブ）					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
情報セキュリティの概念 資産、脅威（人的・技術的・物理的）、脆弱性		2	情報セキュリティの3大要素、マルウェア		2
情報セキュリティ技術 暗号化技術、認証技術、PKI		2	Windows Update、パスワードマネジメント		2
情報セキュリティ管理 情報セキュリティマネジメント、リスクマネジメント		2	ソフトウェアファイアウォールの有効化と無効化、アンチマルウェアの有効・無効化とアラート		2
情報セキュリティ機関・評価基準 情報セキュリティ機関・評価基準		2	利用していない機能の無効化、オープンWi-Fi		2
人的セキュリティ対策、技術的セキュリティ対策		2	タイムアウトとロックオプション、セキュアな接続やWebサイトの確認		2
物理的セキュリティ対策		2	IEのセキュリティ機能、Webブラウザーとプラグインのアップデート		2
セキュリティ実装技術① セキュアプロトコル、ネットワークセキュリティ		2	モバイルデバイスのセキュリティ対策、スマートデバイス管理他		2
セキュリティ実装技術② データベースセキュリティ、アプリケーションセキュリティ		2			2
その他			関連科目		
基本情報技術者試験の基礎となる科目である。 ※実務経験がある教員が担当する科目である。			・ネットワーク基礎		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	C-SR16
授業科目名		授業形態		学科・コース	
プログラム言語 I		講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	120	4	上杉 徳彦 山下 博通
授業の目的・目標					
・サーティファイ C言語プログラミング能力認定試験3級～2級受験に向けた知識の習得					
授業の概要					
授業では、パソコン上で実際にプログラムを作成することを重視します。 確認テストや実習問題、テキストの問題を確実に解いていくことで実力が付きます。 常に「何故そうなるのか」という気持ちを持ち、自分でしっかりと考え、理解することが大切です。					
成績評価の方法					
中間試験と期末試験、小テストの結果及び提出課題の提出状況、出欠席状況で評価します。				期末試験	50%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
Cプログラミング (インフォテック・サーブ) 演習課題 (自作)					
授業内容・授業計画					
	時間数				時間数
C言語とは (特徴、コーディング)	4	getchar()関数と putchar()関数			2
画面への出力 (printf)関数)	6	ビット演算 (論理演算、シフト演算)			4
キーボードからの入力 (scanf)関数)	4	配列 (一次元、二次元、配列操作等)			10
数値計算 (代入、算術演算、複合演算子)	2	ポインタ			12
異なるデータ型の計算 (キャスト演算等)	2	アドレスを受け渡す関数			4
if文 (比較演算子、if文のネスト)	4	ポインタチェック問題			4
論理演算子	2	構造体			20
反復 (while文、do～while文、for文)	8	プリプロセッサ			4
多分岐選択 (else if文、switch文)	4	共用体			4
break文とcontinue文	2	列挙型			2
ここまでのまとめと演習	4	ファイル処理・操作			4
実習問題 (制御構造)	4	まとめと演習			4
その他		関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)				年度		
				2024年度		
時間数は45分換算				科目コード		
				C-SR17		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
オブジェクト指向設計			講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	60	4	浅田 豊子	
授業の目的・目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・オブジェクト指向設計についてプログラムと設計を対応させながら学習する。 ・UMLを用いた設計方法について学習する。 						
授業の概要						
<p>講義と演習により授業を実施する。 UMLについてはastahを用いて作成する。</p>						
成績評価の方法						
授業で行う演習と期末試験で評価する。					期末試験	50%
					課題	50%
使用テキスト・教材						
ゼロからわかる UML 超入門 (技術評論社)						
授業内容・授業計画						
			時間数		時間数	
オブジェクト指向とは			2	設計演習 I (業務を理解する)	2	
モデルとは			2	設計演習 I (オブジェクト図、クラス	2	
UMLの責務について			2	図を作成する)		
クラスとは			2	設計演習 I (シナリオを作成する)	2	
クラスとインスタンス			2	設計演習 I (シーケンス図を作成す	2	
オブジェクト図とクラス図			2	る)		
多重度について			2	設計演習 II (業務の流れを把握する)	2	
astahを使ってクラス図、オブジェクト			2	設計演習 II (システムの機能を抽出す	2	
図を作成する				る)		
クラスをプログラムに展開する①			2	設計演習 II (機能の使用を分析する)	2	
クラスをプログラムに展開する②			2	設計演習 II (オブジェクトを抽出す	2	
コミュニケーションズとシーケンス図①			2	る)		
コミュニケーションズとシーケンス図②			2	設計演習 II (分析クラス図を作成す	2	
汎化と継承について			2	る)		
抽象クラスについて			2	設計演習 II (システムの振る舞いを設	2	
多態性について			2	計する)		
インタフェースについて			2	設計演習 II (実装①)	2	
ユースケース図について			2	設計演習 II (実装②)	2	
				設計演習 II (実装③)	2	
その他				関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス (授業概要)				年度	
時間数は45分換算				2024年度	
				科目コード	
				C-SR18	
授業科目名			授業形態		学科・コース
システム開発演習			講義・演習		コンピュータ科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	60	2	上杉 徳彦 岡部 泰幸
授業の目的・目標					
前期に学習したシステム開発基礎やプログラム言語をもとに、身近なテーマで、設計からC言語によるプログラミング、テストまで行う。					
授業の概要					
1年次の学習の総まとめとして位置付けている。C言語での開発はキャラクターベースで行うので、コマンドプロンプト上に出力する。設計しそれに基づいて開発することを経験し、設計の重要性を学んでもらいたい。さらにプログラムのデバッグも十分やってもらいたい。					
成績評価の方法					
完成したシステムの設計書、コーディングしたプログラム、システムのプレゼンテーションにより評価する。				設計書	33%
				プログラム	33%
				プレゼンテーション	34%
使用テキスト・教材					
プリント (自作)					
授業内容・授業計画					
			時間数		
システム設計			20		
設計書に基づいてプログラミング、テスト			36		
プレゼンテーション			4		
その他			関連科目		
			プログラム言語 I		

シラバス (授業概要)				年度	
				2024年度	
				科目コード	
				C-SR19	
授業科目名			授業形態		学科・コース
システム開発総合演習			講義・演習		コンピュータ科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	60	2	吉田 文昭 石野 真明
授業の目的・目標					
システム開発事例の教材を使い、簡単なデータベースアプリケーションの開発工程を演習形式で学習する。					
授業の概要					
オブジェクト指向プログラム言語を使った、簡単なデータベースアプリケーションの設計～実装までの流れを演習にて確認する。 開発演習は4名の程度グループで作業を行う。					
成績評価の方法					
授業内で作成した成果物を主体に、授業態度・その他提出物などを加味して評価する。				課題	60%
				授業態度	20%
				提出物	20%
使用テキスト・教材					
オリジナルテキスト「システム開発演習」					
授業内容・授業計画					
			時間数	時間数	
現状分析			2		
要求定義			4		
シナリオ定義			4		
システム構成			4		
基本設計			4		
外部設計			8		
内部設計			8		
プログラム設計			10		
製造			10		
テスト			6		
その他				関連科目	
※実務経験のある教員が担当する科目である。				教養ゼミⅣ	

シラバス (授業概要)				年度		
				2024年度		
				科目コード		
				C-SR20		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
Windows プログラム基礎			講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	60	2	上杉 徳彦 内田 正章	
授業の目的・目標						
C#の基本を学習する。 C#で簡単な Windows アプリケーションが開発できる。						
授業の概要						
授業は教科書、演習中心に行う。 最後に課題制作を実施する。						
成績評価の方法						
提出課題の提出状況、出欠席状況で評価します。					課題	50%
					出欠席	50%
使用テキスト・教材						
ゴールから始める C# (技術評論社)						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
基本文法を覚えよう① C#を書くための基本、値と変数の使い方			4	GUI のアプリ、プロジェクト、 Program.cs、Form1.cs		2
基本文法を覚えよう② 計算の基本 値を使ってみよう、異なるタイプを代入すると、値の計算			2	ウインドウを使ったアプリ制作② GUI 部品を作ってみよう ツールボックス、Label 配置、プロパティの設定、ボタン		2
基本文法を覚えよう③ 計算の基本 異なるタイプの値を計算すると、覚えておくと便利な演算子、キャストって何			2	ウインドウを使ったアプリ制作③ GUI 部品を作ってみよう		2
オブジェクト指向ってなに⑦ クラスの機能 静的クラス、抽象クラス			2	イベントの設定、Click イベント、入力フィールド		40
ウインドウを使ったアプリ制作① フォームの基本を覚えよう			2	GameObject クラス		2
その他			関連科目			
※実務経験がある教員が担当する科目である。			プログラム言語 I、プログラム言語 II			

シラバス (授業概要)				年度		
				2024年度		
				科目コード		
				C-SR21		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
ネットワーク設計演習			講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	後期	必修	60	2	吉田 文昭	
授業の目的・目標						
ネットワークを構成する各種機器を組み合わせた小規模なネットワークとサーバーの構築について学習する。						
授業の概要						
仮想環境上にネットワーク機器とサーバーを配置し、演習を通して動作確認を行う。 演習環境、ネットワークプロトコル、ネットワーク技術の3ステップを各ネットワークレイヤ単位で学習する。						
成績評価の方法						
演習結果のレポートの提出状況、授業態度で評価する。					授業態度	20%
					レポート	80%
使用テキスト・教材						
体験しながら学ぶ ネットワーク技術入門 (SBクリエイティブ)						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
ネットワークの基礎 ネットワークの復習 検証環境の理解、構築			12	レイヤー4プロトコル TCP、UDP ファイアウォール		12
レイヤー2プロトコル イーサネット、ARP L2スイッチ、VLAN			12	レイヤー7プロトコル HTTP、SSL/TLS DNS、DHCP 負荷分散		12
レイヤー3プロトコル IP、ICMP ルーティング、NAT			12			
その他			関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。			ネットワーク			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	C-SR22
授業科目名		授業形態		学科・コース	
プログラム言語II		講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	90	3	石野 真明 内田 正章
授業の目的・目標					
Javaプログラムの作成方法を学習する。1年次にC言語のプログラミングを学習しており、共通部分は確認しながら学習する。Java特有のカプセル化、インスタンス化、継承などに重点を置いて学習する。					
授業の概要					
この授業は2年次に行うので、C言語と共通な部分は確認する程度で行い、Java言語独特の部分を中心に学習する。					
成績評価の方法					
単元ごとに確認用の演習を行う。この演習課題はすべて提出する必要がある。また学期末にペーパー試験を行う。ペーパー試験の結果と演習課題の内容により評価する。				期末試験	50%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
すっきりわかる Java 入門 (インプレス)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
Eclipse のインストール		4	カプセル化		8
キー入力、乱数の発生		6	継承		10
繰り返し構文、制御構文、		6	抽象クラス		10
配列、拡張 for 文		4	インタフェース		6
メソッドの利用		10	多態性		4
複数クラスを用いた開発		4	例外処理		8
インスタンスとクラス		10			
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)				年度		2024年度	
				科目コード		G-SR23	
授業科目名				授業形態		学科・コース	
情報特別講義 I				講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	後期	後期	120	4	上杉 徳彦 岡部 泰幸		
授業の目的・目標							
応用情報技術者試験、基本情報技術者試験合格を目指す対策授業です。							
授業の概要							
出題分野毎に過去問を中心とした対策授業を行います。途中、模擬試験を複数回実施して、各自の知識の定着度を確認します。							
成績評価の方法							
出欠席及び学習意欲などで評価。						学習意欲	50%
						出欠席	50%
使用テキスト・教材							
基本情報技術者科目 A問題集・基本情報技術者科目 B問題集 (インフォテック・サーブ) 応用情報技術者午前問題集・応用情報技術者午後問題集 (インフォテック・サーブ)							
授業内容・授業計画							
				時間数			
※基本情報技術者試験の場合							
疑似言語とアルゴリズム				20			
情報セキュリティ				20			
ハードウェア・ソフトウェア				20			
データベース・ネットワーク				20			
ストラテジ				12			
マネージメント				20			
模擬試験				8			
その他				関連科目			

シラバス (授業概要)				年度	
				2024年度	
				科目コード	
				C-SR24	
授業科目名			授業形態		学科・コース
情報特別講義II			講義・演習		コンピュータ科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	120	4	吉田 文昭 石野 真明
授業の目的・目標					
応用情報技術者試験、基本情報技術者試験合格を目指す対策授業です。					
授業の概要					
出題分野毎に過去問を中心とした対策授業を行います。途中、模擬試験を複数回実施して、各自の知識の定着度を確認します。					
成績評価の方法					
出欠席及び学習意欲などで評価する。					学習意欲 50%
					出欠席 50%
使用テキスト・教材					
基本情報技術者 科目 A 問題集・基本情報技術者 科目 B 問題集 (インフォテック・サーブ) 応用情報技術者午前問題集・応用情報技術者午後問題集 (インフォテック・サーブ)					
授業内容・授業計画					
			時間数		
※基本情報技術者試験の場合					
疑似言語とアルゴリズム			20		
情報セキュリティ			20		
ハードウェア・ソフトウェア			20		
データベース・ネットワーク			20		
ストラテジ			12		
マネージメント			20		
模擬試験			8		
その他				関連科目	
				情報特別講義III	

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	C-SR25
授業科目名		授業形態		学科・コース	
情報特別講義Ⅲ		講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	120	4	吉田 文昭 石野 真明
授業の目的・目標					
応用情報技術者試験、基本情報技術者試験合格を目指す対策授業です。					
授業の概要					
出題分野毎に過去問を中心とした対策授業を行います。途中、模擬試験を複数回実施して、各自の知識の定着度を確認します。					
成績評価の方法					
出欠席及び学習意欲などで評価する。				学習意欲	50%
				出欠席	50%
使用テキスト・教材					
基本情報技術者 科目 A 問題集・基本情報技術者 科目 B 問題集 (インフォテック・サーブ) 応用情報技術者午前問題集・応用情報技術者午後問題集 (インフォテック・サーブ)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
※基本情報技術者試験の場合					
疑似言語とアルゴリズム		20			
情報セキュリティ		20			
ハードウェア・ソフトウェア		20			
データベース・ネットワーク		20			
ストラテジ		12			
マネージメント		20			
模擬試験		8			
その他			関連科目		
			情報特別講義Ⅱ		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	C-SS01
授業科目名		授業形態		学科・コース	
制御プログラム		講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	選択	60	2	和田 弘
授業の目的・目標					
マイコン利用による制御プログラムの基礎と応用方法について実習を通して学ぶ。 自分で開発企画、プログラム作成、結果発表をできるようにしたい。					
授業の概要					
電子回路の基礎知識を学び、ハード回路の接続もできるようにする。 そのハードウェアを制御するプログラムを構築する。 プログラムの大きさにかかわらず、自分の考えを構築できることがポイントになる。					
成績評価の方法					
原則、授業態度、課題提出、演習結果提出、等を総合評価した上で決定する。					課題 100%
使用テキスト・教材					
エントリーキット PC (各自持参要) にて下記 HP を中心に授業を進め、課題提出等にも使用する。 [授業用 Web HP] http://www13.plala.or.jp/NTCSMSI/xdnj.html 、Teams					
授業内容・授業計画					
		時間数		時間数	
授業内容・目標確認・教材確認		2	明るさの制御>2-5	2	
電子工作/部品/回路の基礎>1.1		2	温度測定>2.6	2	
電子工作/部品/回路の基礎>- 2		2	距離の測定>2.7	2	
環境設定して使ってみる>1.2		2	サーボモーター制御>2.8	2	
環境設定して使ってみる>- 2		2	液晶ディスプレイ制御>2.9	2	
Arduino だけで使ってみる>1.3		2	I 2 Cデバイス>2-10	2	
Arduino だけで使ってみる>- 2		2	電子サイコロを作る>3-4	2	
回路設計して回路を作る>1.4		2	電子サイコロを作る- 2	2	
回路設計して回路を作る>- 2		2	ラーメンターマーを作る>3-7	2	
回路設計して回路を作る>- 3		2	ラーメンターマーを作る- 2	2	
LED制御- 1>2.1a		2	時計を作る>3-10	2	
LED制御- 2>2.1b		2	時計を作る- 2	2	
LED制御- 3>2.2		2	メロディ演奏- 1	2	
色の制御>2.3		2	メロディ演奏- 2	2	
音を制御>2.4		2	メロディ演奏- 3	2	
その他		関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	C-SS02
授業科目名			授業形態		学科・コース
Office アプリケーション			講義・演習		コンピュータ科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	選択	60	2	清 慶治
授業の目的・目標					
Access を学習する。 Access で簡単な Office アプリケーションを開発する。					
授業の概要					
テキストに基づいて演習を行う。 最後に課題制作を行う。					
成績評価の方法					
授業中に作成したデータベースと課題により評価する。				提出DB	80%
				課題	20%
使用テキスト・教材					
Access によるシステム構築問題集 (ムゲンダイ出版)					
授業内容・授業計画					
	時間数				時間数
データベースについて、Access の使い方	2	Excel、Word との連携			2
データベース、テーブルの作成方法	2	メニューの作成			2
顧客テーブルの作成	2	課題作成 1 住所管理システムの開発			6
顧客情報フォームの作成	2	課題作成 2 メディア管理システムの			6
顧客フォームを使って情報登録	2	開発			
商品テーブルの作成	2	課題作成 3 売上管理システムの開発			6
商品情報のフォームの作成	2	課題作成 4 成績管理システムの開発			8
注文テーブルの作成	2	総合問題 レンタル DVD システムの			8
リレーションシップ	2	開発			
請求書の作成	2				
月ごとに売り上げをまとめる	2				
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)				年度		
				2024 年度		
				科目コード		
				C-SS03		
授業科目名		授業形態		学科・コース		
Web アプリケーション		講義・演習		コンピュータ科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	前期	選択	60	2	中村 知枝美	
授業の目的・目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・ HTML、CSS を使用してデザイン性のある Web ページを作成する。 ・ JavaScript、jQuery を使用して動的な Web ページを作成する。 ・ PHP とデータベースを使用して動的な Web アプリケーションを作成する。 						
授業の概要						
<ul style="list-style-type: none"> ・ HTML に JavaScript を追加することによって、閲覧する側の使いやすさや見やすさを考慮する。 ・ JavaScript は他のプログラミング言語の考え方の礎となる。 ・ PHP を習得することで、Web アプリケーション開発を行うための知識・技術を学ぶ。 						
成績評価の方法						
課題提出				課題 100%		
使用テキスト・教材						
JavaScript ではじめるプログラミング超入門 (技術評論社) 誰もがあきらめずにすむ PHP 超入門 (SB クリエイティブ)						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
JavaScript の概要			2	PHP の概要		4
繰り返し処理			6	送受信 (GET と POST)		4
if else 文による条件判定			4	ファイル操作 (読み込み、書き込み)		4
多重ループ			2	データベースの構築・操作 (SQL)		4
配列、関数			2			
イベント処理			6			
一定時間ごとの処理			2			
Math、Date オブジェクト			6			
String オブジェクト、ダイアログ			2			
キャンバス			4			
jQuery			8			
その他			関連科目			
			HTML			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	C-SS04
授業科目名			授業形態		学科・コース
表計算アプリケーション			講義・演習		コンピュータ科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	選択	60	2	吉田 文昭
授業の目的・目標					
本来は手作業で行うべき Excel の操作を自動で実行してくれる機能であるマクロを、Excel VBA というプログラミング言語で記述することを学習する。「マクロの記録」のようにサポートしてくれる機能が豊富なので、プログラムが苦手でもスムーズに作業が進められる。					
授業の概要					
授業では毎回、Excel VBA の基本知識を学ぶと共に、様々な課題に取り組むことで実践的なプログラミング技術を習得します。					
成績評価の方法					
提出してもらった課題により評価する。					課題 100%
使用テキスト・教材					
Excel VBA 本格入門 (技術評論社)					
授業内容・授業計画					
	時間数		時間数		時間数
基本操作とデモプログラム紹介	6	課題作成 (繰り返し処理)	4		
基本構文を理解	2	対話型のマクロ	2		
ブックとシートを操作	2	課題作成 (対話型のマクロ)	4		
セルを VBA で操作	2	ユーザー定義関数	2		
ユーザーフォーム	2	文字列を操作	2		
ユーザーフォーム	2	日付や時刻を操作	2		
課題作成 (マクロの記録)	4	グラフを操作	2		
変数	2	課題作成 (創作)	6		
課題作成 (変数)	4				
条件分岐	2				
課題作成 (条件分岐)	4				
繰り返し処理	2				
その他			関連科目		
			表計算基礎、表計算応用		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算			年度	2024年度
					科目コード	C-SS05
授業科目名			授業形態		学科・コース	
スマホアプリケーション			講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	前期	選択	60	2	石野 真明	
授業の目的・目標						
この授業はAndroidアプリの開発ツールであるAndroid Studioを使い、Androidアプリの開発方法を学習する。						
授業の概要						
はじめに個人のパソコンにAndroid Studioをインストールし、各種環境設定を行う。その後、画像の表示方法、音声の再生方法、画面遷移の方法やファイル、データベースの使い方などを各種アプリを作成しながら学習する。						
成績評価の方法						
課題提出により評価する。					課題 100%	
使用テキスト・教材						
いきなりプログラミング Android 開発 (翔泳社)						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
Android Studio のインストール			4			
フローシミュレーターの作成			8			
写真集の作成			8			
音データの再生			8			
クイズアプリの作成			8			
図鑑アプリの作成			12			
データベースを使う			12			
その他				関連科目		
				プログラム言語Ⅱ (Java)		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	C-SS06
授業科目名		授業形態		学科・コース	
CAD オペレーション		講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	選択	60	2	佐野 佳久
授業の目的・目標					
機械製図と Auto CAD の基本操作を習得する。					
授業の概要					
機械 CAD の基本的な使い方を学習する。					
成績評価の方法					
図形の大きさに合わせた用紙サイズ・尺度選択し、三面図が描く。					課題 100%
使用テキスト・教材					
オリジナル教本					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
機械製図の概要			2		
Auto CAD の概要			4		
CAD の基本操作			6		
CAD の基本操作			8		
テンプレート			2		
修正コマンド			8		
一面図			6		
二面図			6		
三面図他			6		
縮尺・倍尺			2		
ブロック			4		
レイアウト			6		
その他				関連科目	
※実務経験がある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	C-SS07
授業科目名		授業形態		学科・コース	
卒業研究		講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	選択	120	8	鈴木 孝昌、和田 弘 石野 真明、吉田 文昭
授業の目的・目標					
2年間の学習成果をまとめとして、グループごとの研究テーマにより総合的な研究を行う。					
授業の概要					
テーマは、主に基本システム開発・応用システム開発・シミュレーションなどで、システムを作成し、それを卒業論文にまとめ発表する。					
成績評価の方法					
できあがったシステム、卒業論文、発表により評価する。				システム	60%
				論文	20%
				発表	20%
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
基本設計、概要設計、詳細設計		時間数	40	時間数	
システム作成、論文作成		時間数	80	時間数	
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	C-SS08
授業科目名		授業形態		学科・コース	
インターンシップ		講義・演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	選択	120	8	石野 真明 吉田 文昭
授業の目的・目標					
内定先企業から長期のインターンシップに来てもらいたいという依頼があったときに対応する科目である。					
授業の概要					
企業のインターンシップである。					
成績評価の方法					
出欠席と企業側の評価による。				取組	60%
				論文	20%
				発表	20%
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
インターンシップ		時間数	120		時間数
その他		関連科目			